

ルルドの丘

2010
10月
No.18



目次

みことば・きらりん	2
巻頭言	3
ヴォイス(1)	4
おでかけ・できごと	6

ヴォイス(2)	8
ぼっかぽか	10
ぴかぴかぴか	11
行事予定・編集後記	12

社会福祉法人 聖母の騎士会
恵の聖母の家

▼「みことば」では聖書の御言葉をお伝えします ▼「きらりん」では皆様の活動をお知らせします

みことば

愛は、雨上がりの太陽のようにあたたかい。

ウイリアム・シェークスピア



愛とは人を大事にすること。

相手が嫌いでもいい。

でも、その人を真心を尽くして大切にしてお返しあげる。

人を大事にする、大切にすることは、

喜ばせてお返しあげるということ。

喜び合いましょう。

きらりん

ステンシル画

利用者の方と週1回を目安にして、今年から利用者の方1名とポストカード制作をしています。ステンシルを参考にした方法で絵画風ですが、ご本人の手の力を活かすには適しています。左手で筆を握って、型に色をつけて行きますが、花は塗り易く、美感覚も養えるので四季の花に挑戦してます。薄い紙や硬い紙など、画材によっても上手くできる時とそうでない時がありますが、ご本人は意欲満々です。塗り終えて型をはずす時は絵が浮き出る瞬間であり、作業の結果がわかる時でもあるためか、喜びの声を発しています。11月には、大分県障がい者社会参加推進協議会主催のときめき作品展に出展する予定です。



会場：アートプラザ・アートホール

期日：平成22年11月26日（金）～11月30日（火） 5日間

10：00～18：00（30日のみ12：00まで）

皆さまも機会がありましたらお足を運びになられてご覧いただければ、また、感想をいただければと思います。
(保育士 熊川シメ子)

表紙の写真はおもちゃ箱コンサートでのスマイリーズの活躍の様子です。

巻頭言

園長 佐藤圭右

七月上旬、九州沖縄地区重症心身障害児者施設が集まりが沖縄県名護市であり、参加しました。一日目は雷も伴うような雨でしたが、二日目から徐々に天候も回復し、午後は沖縄療育園の皆さんの案内で施設見学をさせていただきました。名護市から同園がある浦添市までの道中、「皆さんが普段観光で行くことのないところを案内します。」ということとで寄り道していただいたのが、鉄条網で米国海兵隊施設と地元漁港が仕切られた静かできれいな辺野古の海、米国以外で最大級の敷地面積を持ち飛行場の滑走路も四千米メートル級のもので二本あり旅客機よりもはるかに大きな爆音を立てながら離発着する戦闘機がある嘉手納基地、そして普天間の本場に街中にありヘリコプターが大学に落ちた普天間基地の三か所でした。翌日、ひめゆりの塔や沖縄県平和祈念資料館なども個人的に見学しましたが、日本で唯一の地上戦が行われ、その後、昭和四十七年まで米国の統治下にあった沖縄の近代から現代史を垣間見ました。

しかし、基地の説明の中で、この基地に対し相当額の借地代が支払われ、その借地代を元に住宅ローンを組んだり、お子さんを県外の大学に行かせたりしている人がいるのもまた現実という話も聞きながら、基地の周囲にはアルファベットで書かれた看板を持つお店が並んでいるのも見えました。その中で、悲惨な思いをされたにもかかわらず、米国人が憎いわけじゃない、ただ基地が嫌い、戦争に巻き込まれるのがいや、と話されているのが印象的でした。

沖縄の基地問題に対し、理想を打ち上げるのは簡単でしょう。誰もが基地だけを欲しいとは思っていないはず。自分もどうするのが正しいとは一概に言えないのですが、ただ、これまでの歴史を踏まえ、そしてこれからの行く末を見据え、どう現実的に対処していくかを考えるのが政治なのではないでしょうか。

福祉でも、予算や人を十分につけていたくのが最善です。しかし、財源は限られており、右肩上がりの経済でも、人口が増えているわけでもありません。確かに障害者自立支援法(法律名は、利用者自身のいきなりの負担増で現場を混乱させたのは

事実です。しかし、これからの将来を考えたうえで、一面必要なものだったのかもしれない。

介護保険と障がい者福祉は、前者は保険、後者は税金で財源が違うと言われます。しかし、老人と障がい者では圧倒的に数が違い、独自の障がい者施策も若干は行われているように思えますが、自分たち医師が書く自立支援法意見書は介護保険意見書の使い回しのようなもので、障がいを持つ個人の実情を反映しにくいものです。このような現実の中で、むしろ、自分たち障がい者施設が存在を否定することかもしれませんが、人口も少ない地方では、一部介護保険と障がい者福祉を統合してもよいのではとも思えます。ただし、それぞれに個別支援計画を策定し、どう実現していくかは必須でしょう。

ただ、これらを目先のことで判断したくはありません。そして何よりも、先ほどと同じように、これまでの歴史を踏まえ、そしてこれからの行く末を見据え、どう現実的に対処していくかを考えて行きたいものです。

そして、この問題は施設だけで考えるものでなく、利用者の保護者、後見人の皆さまとともに見つめて行きたいと思えます。

事務長就任において

事務長 松浦紳一郎



「あなたが嘘をついているか、他の人全員が嘘をついているかだ。真実が何なのかは結局はわからない。いろんな人達の真実を重ねて、一番たくさん重なり合っている所が真実と決めるしかない。」(郵便不正事件における某検事の言葉)

この事件は全て大阪地検特捜部による捏造と判明したのだが、一步間違えれば嘘が真実となり冤罪となる事件でした。多数決で判断すれば「嘘であっても真実になる」との検事の言葉は常識では考えられないが、身近な職場や私生活でも、内容の程度はさておき似たような事が起きる。得体の知れない無責任な噂でも集団の数になると既成事実がつくられ、あたかも真実となりうるような判断を迫られる。出所を探っていけば、私は知らないけど誰かが言っていた、どんどん辿ればその誰かが存在しなくなる。「火の無い所に煙は立たぬ」というが「火が無いのになぜか煙が立つ」事がたまにある。人間誰しも、ああしたい、こうしたいと思っても、なかなか100%思い通りにいかない。ともすれば、思い通りにいく事の方が少ないのが世の常である。ただし、今回の事件を教訓とし、仕事に取り組む上で思い通りにいかないからといって、道徳の観念が弱くなるのは避けなければならない。世の常だからといって、許される事と許されない事の区別は、事実を掴み、判断を間違わないように、事務長就任にあたり、心がけていきたいと思えます。

総看護師長就任のごあいさつ

総看護師長 牧山美鶴江



1983年(昭和58年)以来、師長1名、主任体制でまいりましたが、2009年7月 準、超重症児(者)対応の20床の病棟を増築し、3病棟体制で稼働を始めました。これを機に本年4月より看護部組織の変革を致しました。折しも、在宅の準、超重症児(者)の方々の利用希望、また、学生の臨地実習校も増え、看護教育、療育の面でも多岐にわたって求められるものが大となりました。

このような時期に不束な私で良いのかと自問致しましたが、恵の聖母の家はカトリックの施設であり、理念を伝えていくことは私の責務である事と、経験豊富なスタッフに恵まれている事を強みにお受け致しました。これからの重症心身障害児施設は医療のめざましい進歩とともに、生かされた命を証として輝かせる為の役割が有ります。専門分野は勿論の事、利用者さん、ご家族のニーズに応えられるようスタッフ共々日々の研鑽に努め、どんな小さな行為も心をこめた愛の手が差し伸べられる人材育成を目指してまいりたいと思えます。



釣りバカ物語

薬剤師 伊賀 津與繁

リアス式海岸にある小さな漁村に育った私は、小学校に入った頃から海に親しみ、いつの間にか釣りをはじめていました。

竹の先に糸を付け、かみつぶしと針だけのシンプルな仕掛けで、キスやギザメ、ハゲ等を釣って楽しんでいました。友達からは「釣りバカ」と言われるほどで、学校の宿題もままならない少年でした。

そんな少年でしたが、中学・高校では、部活に明け暮れ、大学では毎月の生活費を稼ぐためのバイトにおわれ、釣りのことなど全く頭にない生活を送っていました。

それが、就職してから、ある先生との出会いで呼子に鯛釣りに誘われたのがきっかけで、先生のお供で、春は九十九島のメバル釣り、秋は呼子の鯛釣り、冬は平戸への寒グロ釣り。釣りに火がついてとうとう

釣りクラブに入り、先生との同行以外に、月に2回は平戸通い。いつの間にか「釣りバカ日誌」になっていました。

新婚時代も土日は海通い。奥さんの気分を書いたのか、金曜日の夜に仕事から帰ったら、大分へ帰るとの置き手紙。その後は、ちよっと奥さんのお付き合ひ。でも長く続くはずがありません。

そうこうしているうちに、家庭の事情があつて大分(妻の実家が津久見)に帰ることになりました。大分に帰ってからは、もっぱら波止場からの安上がりな釣り、チヌ釣りにはじまり、モイカ釣り、今はもっぱら「アジ」釣りに夢中になっています。

今年は今のところ、思うような釣果がえられていません。

釣りは自分の健康のバロメーター。釣りに行く時の顔は、妻からも一番いい顔と言われます。私のことを仕事人間という人もおりましたが、本当は趣味人です。釣りに関しては大きい声では言えませんが、仕事以上に熱いものがあります。

わが職場にも釣り好きがたくさんいます。一緒に休みが取れたら、みんなで行きたいと願っているところです。

ストレス解消と日頃できない

コミュニケーションを楽しみたいですね。



デイサービス『ごだま通信』のご紹介

通園スタッフ 佐藤文代

通園「ごだま」では年に3回、デイサービス通信なるものを発行し、保護者の方々に日頃の利用者の様子や新職員の紹介、行事の日程などをお知らせしています。通園が開始されてからデイ通信という名称で現在まで、140号が発行されています。今年度から色つき(カラー)でもとても見やすくなっています。今回はその中のデイレポートを紹介したいと思います。「ポッチャ」

5月15日(土)と7月17日(土)に障害者スポーツ指導員の方を招いて、病棟利用者の方々と一緒にポッチャ教室を行いました。



初めに皆で準備体操を行い、ボールが握れるか、投げられるかなど、身体が活かせるようにスポーツ指導員の方々に確認していただきました。次にポッチャの正式なルールの説明をしていただき、ゲームが開始されました。青ボール、赤ボールのチームに分かれて、ジャックボール(白ボール)にそれぞれのボールを、より多くより近くに寄せたチームが勝ちとなります。あつと言う間の50分。皆さん、一生懸命に練習し、楽しく盛り上がる事ができました。多くの事を教わり、楽しいポッチャ教室でした。これからも保護者の方々に日頃の療育活動の様子をお伝えし、読みやすく、楽しいデイサービス通信を発行できればと思っています。

できごと



心れあい交流会 8月5日(木)

毎年、支援学校が夏休みの期間に、先生たちが交流会を計画されています。今回は20名を超える先生方が来て下さり、ホールで歌や演奏で楽しい時間を過ごしました。また利用者の中に先生方が入られて一緒に楽しんだり、利用者の方もメンバーのようにシンバル演奏をさせていただき、訪問学級に通う生徒のあいさつで終了しています。支援学校の皆さま、楽しい時間をありがとうございました。今回は四角い筒に丸い穴のあいた「カホン」という楽器が注目をあびていました。来年も楽しい時間が過ごせますように。

<プログラム> ♪ハミング 訪問教室学生の紹介 ♪プレイバックパート2 ♪小さな世界(フルートアンサンブル) ♪少年時代(フルートアンサンブル) ♪ウクレレ演奏 ♪千と千尋 ♪情熱大陸 <アンコール> ♪終りの歌 ♪明日も元気で

夏のボランティア公演 8月21日(土)

8月は毎年、ボランティアの方による公演を予定しています。今年も別府大学短期大学部の人形劇団マーブルの皆さんが来て下さいました。会場には、病棟の利用者の方、デイサービス利用者の方、そして深き聖母の家の方など、たくさんの方が集まり、一緒に楽しむことができました。公演内容は、♪幸せなら手をたたこう、♪マーブルのテーマソング! 人形劇「チャリーのお留守番」 じゃんけん大会「じゃんけんぽん」 人形劇「おもちゃと子どもの友情のお話」そして人形との触れあいでした。人形もストーリーも劇団の方の手作りとのこととびっくりです。その大切な人形にも触れさせていただいて、皆さんとても喜ばれていました。ありがとうございました!



権利擁護委員会

一障害者・施設利用者の人権を考えるー
8月19日(木)

8月は人権月間です。恵の聖母の家では質向上委員会と権利擁護委員会の合同研修会が開かれました。今回は講師に、大分県人権教育・啓発推進協議会登録講師で心理カウンセラーであられる松木和美先生にお越しいただき、「今求められるパラダイム・シフト」として人権侵害を防ぐにはと題して教えていただきました。先生はコミュニケーション・スキルで防げた人権侵害もあったこと、そして「傾聴」についてお話下さいました。人権侵害が起こらないためには、①定期研修②自尊心を高める③適正な待遇を受ける、の3つをあげられ、ワーキングバランスやワーキングシェアの大切さも含めて、生活環境に応じた社会にしていこうの必要性を教えてくださいました。人は傾聴により安心し、やがてそれが自分で解決していくエネルギーになるので、傾聴は大きな効果があるとお話下さいました。ありがとうございました。



(展示コーナー)

おもちゃ箱コンサート 9月23日(木)

今年は車椅子レクダンス「スマイリーズ」のメンバーが参加させていただきました。曲目は「ときめきのルンパ」「風になりたい」です。プログラム1番ということもあり、緊張もあったと思うのですが、会場からもたくさんの応援があって、メンバー皆、堂々とダンスを披露することができました(その模様は表紙の写真をご覧ください)。「ボランティアの育成」「障害の有無にかかわらず皆で頑張っていることをみてもらおう」「情報の発信」ということを柱に野津町公民館にて2001年から始まったこのコンサートも第10回を迎えて、一区切りとのこと。次の機会を楽しみにしたいと思います。

家族の日

家族の日 5月23日(日)

利用者ご家族、支援者との交流を目的としています。今年度は交流ホームでの前半を福祉レクダンス、後半はカーリングやベタンクなどのゲームや様々なものに仮装して楽しむ変身コーナーで、そして病棟ホールでは大型プラズマテレビを利用したTVゲームなどで楽しみました。レクダンスでは「風になりたい」、「恋のパカンス」、「ときめきのルンパ」をご家族と共に楽しみました。また、日頃来られている傾聴ボランティアの方も参加され、いろいろな人と親睦が図れたと思います。



夏の集い 7月

利用者の方に少しでも夏を楽しんでいただくこと、毎年7月に各病棟に分かれてそれぞれ日を選んで行っています。内容も病棟ごとに特色があります。ひかりの大地とのぞみの丘は、ホールで空き缶を用いた魚釣りゲーム、テラスの方では水鉄砲で射当てゲームを。あゆみの広場の方では、ハワイアン風のDVDとその衣装に身を包んだスタッフ、そして今回は看護学生にも協力していただき、皆でダンスを楽しまれたようです。本場ながらのフラダンスを皆さん堪能されたようです。そしてどの病棟も最後をしめるのがスイカ割りです。はじめに利用者の代表の方、そして最後は支援者の代表者が目標しをされた中で棒を持ってスイカを探して、皆のリードでしっかりと割って、それぞれに食べやすい形態にされたスイカをいただき、夏らしさを感じていただけたのではないかと思います。



園内レクリエーション 8月12日(木)

午後、あゆみの広場の病棟ホールで行っています。外での活動が難しい方を対象にしていますが、予定通り、4名の方と活動を行うことができました。野菜を通しての制作活動を行い、利用者の方、そしてご家族の方がゆっくりと会話を楽しまれ、終始穏やかな雰囲気を感じながら過ごすことができました。二家族にご参加いただくことができました。(小林)



24時間テレビ 8月29日(日)

毎年、募金活動を園内で行って、いつもは郵便局に募金を届けておられる2名の利用者の方に、今年度は会場に駆け付けていただきました。当日はそれまでに集まった善意に加えてご本人のご家族からも募金を預かり、大変喜ばれていました。お二人とも会場に行くのは初めてで、会場のボランティアの方にペットボトル3本、丸缶、24時間テレビ募金箱をお渡ししました。会場のイベントとして「アート書道の体験」があり、2人も挑戦されていました。会場スタッフの皆さまとも記念撮影ができ、楽しい交流にもなりました。(丸山)

6月10日(木)

季節を感じる 道の駅きよかわ
5名の方が元気に参加することができました。また1家族にご参加いただいています。園からは30分以上のところにるので、利用者の方にとってはドライブとしても楽しめたようです。そして、ここは道の駅でもあるので、現地では買い物も楽しめたようです。もうちょっと時間が欲しくなる活動となりました。(佐藤)



6月24日(木)

季節を感じる 道の駅きよかわ
4名の方が参加されています。活動時間は30分ほどとなりましたが、買い物や神楽会館を散策して楽しまれたようです。帰園後は、活動のビデオをご覧になった他の方々から「楽しそうに過ごされている」との感想をいただきました。1家族にご参加いただきました。ありがとうございました。(佐藤)



7月8日(木)

買い物 トキハイナストリー 三重店
4名の方が参加されています。1家族の参加があり、利用者の方も楽しく買い物できました。また、他の利用者の方もいろいろなものを見たり買ったりして気分転換になったようです。今回はリクライニング式の車いす利用の方のエレベーター以外の移動方法や休憩室などを確認しながら、より楽しくできればと思っています。(佐藤)

8月3日(火)

ドリムサーカス
ドリムサーカス大分スポーツ公園 社会福祉事業協賛の「ドリムサーカス」の招待をいただき、5名の方がショーの観覧を楽しみました。観覧後はパークプレイスで昼食を楽しんでいます。利用者の方もそれぞれに食事を楽しまれ、暑い時期でしたが、体調も変わりなく過ごすことができました。ご配慮いただいた皆さま、ありがとうございました。(竹尾)

9月9日(木)

買い物 マルショク 臼杵
5名の方が参加されています。車椅子の事情でリフト車を2台使いましたが、スムーズに活動を行うことができました。お店のエレベーターには余裕があり、リクライニング式の車いすでも利用することができ、買い物を楽しむことができました。利用者の方も買うものを決めていたので、スムーズな買い物となりました。1家族にご参加いただきました。ありがとうございました。(竹尾)

おでかけ

5月1日(土) とんとんクラブ 犬飼町大野川河川敷

4名の方と「ときめき作品展」に出展する作品(ちぎり絵)の題材であるこのほりを実際に見てイメージを膨らませることができました。天候にも恵まれて、ゴールデンウィークでしたが混雑もなく、ゆっくりと「こい(どんこ)のほり」を見学することができました。風に吹かれて泳いでいるたくさんのこのほりをじっと見つめる利用者の姿が印象的でした。利用者それぞれの中にイメージとして残ったのではないかと思います。(廣田)



自然に触れよう 大飼リバーパーク

5月13日(木)

1名体調不良のため、4名の参加で行いました。あいさつ後になぞなぞを用いたオリエンテーリングを行って過しています。場所は園から車で20分程度の隣の町で、快晴で風もさわやかで、平日のためか他のお客さんもおらず、のんびりと過ごすことができました。2家族のご参加がありました。ありがとうございました。(甲斐)



5月20日(木) 臼杵石仏 自然に触れよう

園より車で20分のところにある、臼杵市の石仏に出かけました。1名が体調不良のため、前日判断で不参加となり、4名の方が参加となりました。天気の方が回復傾向なので出発し、小雨でしたが、石仏の観覧に影響はなく、お土産屋さんまで寄り添って楽しみました。利用者の方は入浴剤やお菓子などを購入されていました。1家族のご参加があり、利用者の方も楽しまれたようです。帰り際に雨が降り始めたので、予定より少し早めの帰園となりましたが、気分転換につながったようです。(竹尾)



5月27日(木)

自然に触れよう 内山観音
園から車で30分くらいのところにある、三重町の内山観音に利用者5名で出かけています。利用者の方に合わせて吸引器を2台用意して活動を行っています。朝の気温が低めだったので、付き添い職員が保温に努め、体調良く過ごせたようです。心た家族の参加をいただきました。建物を探すとオリエンテーリングを通して散策を行いました。活動時間もあり、ゆっくりとした時間を過ごすことができました。平日でも観光客が多く、利用者の方も観光地の気分が味わえたのではないかと思います。(芦刈)





生活科 福祉

音楽療法を導入して3年

生活福祉科主任 倉本恵子

2008年4月、大分社会福祉協議会の音楽療法士派遣制度を活用して、初めて、外部の専門講師2人による音楽療法を開始しました。初めて重症児者に接する音楽療法士に、現在に至るまで音楽を媒体にした音楽活動（例 車椅子ダンス、レク体操、音楽クラブなど）を展開していることを説明し、反応が表面化しにくい利用者の方の命の輝きに音楽がとても重要な働きをしていることをお伝えしました。6人の利用者の方と音楽療法士、保育士らによる月1回の活動を通して、利用者の方との関係性の変化や音楽療法参加時の利用者の微細な状態の変化が時間の経過と回を重ねる毎に見えてきました。音楽の嗜好も様々ですが、音楽療法士の歌声が特に好きで、音楽のジャンルは童謡や唱歌、楽器はハンド



ドラムとツリーチャイムの音が心をゆさぶるようだとしほれてきました。また、体調の良し悪しに影響されませんが、非言語コミュニケーション（表情、眼球の動き、口の動きなど）から、このセッションの時は音楽に集中している、期待している、純粋な感性を表現している、リラックスしているのでは…と支援者の視点からの気づきがありました。

2010年度には言語聴覚士、臨床心理士も加わり、他職種との連携により、表情や反応といった表出の変化が読みとりにくい重症児者に本当の心地よさを感じていただくためにさらなる取り組みを行っているところです。



写真は音楽療法の一場面です

地域科 福祉

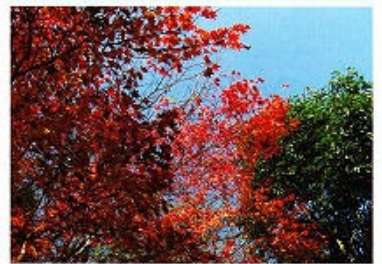
めぐみの秋

臨床心理士 児玉久美子

常動になって、はや6ヶ月。おだやかな雰囲気、全体的にやわらかな色調の恵の聖母の家の中で、たったひとり、目にしみるほど強烈な黄緑色の制服で毎日を通しています。

発達外来で、小さなお子さんともお会いするので、他のスタッフさんと服の色が違う方がわかりやすいのではないかと、選んだつもりでしたが、届いてみると、この上なく新鮮な緑色。きはすかしい思いをしながら「みどりの服、心理のこだます」と自己紹介しています。

外来では、発達に課題をもつ子が幼稚園や学校などの集団生活でも、自分のよいところを伸ばせるように、また、そのご家族が迷ったり、困ったりしていることについて相



談をうかがったりしています。発達検査をしたり、リラクゼーションを提案したり、カウンセリングや遊戯療法を行ったりしています。

一方、病棟では、ベッドサイドで日々のお話をうかがったり、病棟の活動に仲間入りさせてもらったり、個別の面接で、ご自身の思いをゆっくり整理したり、といったことを日々、少しずつさせてもらっています。

そんな活動の中で、外来でも病棟の利用者さんにも最も好評なのが、箱庭です。箱庭を作成することで、言葉には表わせなくても、自分のイメージを表現したり、葛藤を解決したりと、心のよいエネルギーになるようです。

この箱庭、実は、他にない仕掛けがあります。恵の聖母、宮緒特製の可動式 砂箱。利用者さんの手の動きや身長にあわせて、台の高さを調整できるように改良してもらっています。多分、大分には、これ一台。車いすを利用されている利用者さんにも、使いやすく、とても助かっています。

ぜひ、お気軽に、この箱庭、見物に来てください。心理室、ご案内します！



看護科



大分県立病院

NICUを見学して

看護師 荒木初美

昨年のことですが、重症児在宅療養研修会に参加させていただいた時のことを報告します。この研修会は、周産期医療の救急搬送受け入れ不能事態のバックグラウンドとしてNICUの満床問題が課題となり、その児に適した療養環境への移行の推進について共通認識を深め、各関係者の役割を理解することを目的とし、大分県福祉保健部健康対策課を実施主体として開かれました。

会では、大分県立病院新生児科の飯田医師、小児看護専門の品川看護師や大分市内で在宅医療を支える医師・看護師や岡山県の旭川荘児童院の片山医師、他の皆さま

と現状を交えて、問題点や打開策について話し合いました。とにかく児・ご家族が孤立しないように地域での受け皿が必要であり、調整していかねばならないということでしたが、在宅医療ネットワークや社会資源の活用が課題です。

研修会終了後、飯田先生の案内で、NICUを見学しました。ほとんどの赤ちゃんが呼吸器・モニターを着けて管理されていました。数か月後、その中の女兒とご両親が当施設に見学にいられていました。気管切開をばされていましたが、呼吸器を使用せず在宅移行できたようです。ご家族も頑張り過ぎない介護を続けて欲しいと思いました。

このような会に参加し、いろいろな機関と情報交換し、その子と私たちの成長とご家族の生活を支援していきたいと考えています。



訓練科



関西弁に大きな壁

作業療法士 永坂潤一

この言葉の意味はわかりますか？①おうてる②ほかし③ちやうで。関西では普通に使用している言葉です。神戸から大分に来て、九年目になりますが、まだまだ関西弁が出てきます。

さて、訓練科が訪問リハに取り組んでから早いもので十年になりました。利用者様の顔ぶれはちよっと変わりましたが、現在六人が利用されています。県南という広域のため片道一時間といちどころもありません。最近では人工呼吸器を利用した最重度の利用者様も増え、在宅医療の拡がりを感じています。今後、少しでも在宅の皆様のお手伝いができたらいなと思います。

ところで、冒頭の言葉の答えですが、①合っている②捨てておいて③

違うよ、です。イントネーションも大分とは違います。大分弁の理解は半分くらいできるようになりましたが、言葉はそう簡単には変えることができないと感じる毎日です。関西弁は私の誇りです。毎度！おおきに！

宮繕



宮繕 藤木光浩

今年は猛暑に見舞われました。平年なら、春には山茶花に付く毛虫も無く、蚊も少なかったのではないかと思われ

ます。あゆみの広場(病棟)も二年目になりますね。春先からフェンスの向こう側に花を植える事にしましたが、土が固いので難航、新芽が出たと思ったら、今度は季節外れの霜にやられ、真夏には雑草との闘いで、悪戦苦闘の毎日でしたが、やっと落ち着きました。秋には観てくれたかなあ？小さなコスモス畑を。来春には、黄色い花が咲く予定にしていますよ。



保護者の皆様から

みんなのめぐみ会へ

めぐみ会会長 三浦征恭ゆきやす

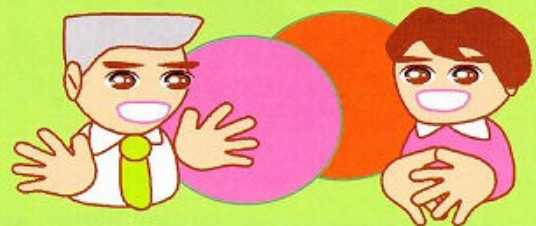
今年の夏は特別の暑さで、心身共に大打撃ですが、皆様お変わりなくお過ごしのことと拝察申し上げます。

本年よりめぐみ会でのお手伝いをさせて頂く事になりました。高齢だし、身体に持病があり、いつ急ブレーキがかかるかも知れない状態での引き受けですが、矢島前会長さんが“守る会大分支部長”を兼任された事により、私も此の役を引き受けする事に相成りました。矢島前会長さんや前役員さんの努力により、皆様方の会に対する考えも充実されていると感じます。園の行事や奉仕作業に積極的に参加をして頂き、入居者も皆様に会う事によって安堵を感じているようです。何の星の廻り合わせか、入居者は日々この状態で頑張っている訳ですが、施設のおかげで元気に日々を過ごせている様(さま)です。感謝あるのみです。

施設の開所当時より勤務されている方(少数の方)の言葉で「ここで生活している方々の喜びと健康安定維持のため施設で働かせて頂いています」。なんとありがたい言葉ではないですか。常に入居者に声を掛けている姿は天使様のようです。親の私たちが見習いたくなる姿です。中には初めての経験で大変そうな方もいらっしゃいますが、続けて勤務されている方は努力の跡が感じられ、ありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。

私たち親が施設に何うと入居者は安堵と嬉しそうな表情、職員の方が日々お世話して頂いても親子の絆は何ものにもかえられない思いです。入居者も一年一年、年齢を重ねるように、私たち親も同等に年齢を重ねます。健康の許す限りわが子に面会に来られるように努力をして欲しいと思います。施設に於いてもお互いに声を掛け合う事に努力して、遠慮せずに気軽に話しかけて頂きたいと思います。総会のみでの発言でなく、親同志の語らい、園や職員に対する事でも皆様と沢山の会話の機会が出来る事を願っております。園が頑張っていて職員が努力してくれているものの、入居者を施設にお願いしてこれで良いのではなく、私たちも勉強して入居者と親と施設の三者が意見をまとめ、めぐみ会で意思を統一し、守る会(全国大会)に代表を参加させ、私たち入居者の幸せと権利の要望する事を考えていこうではありませんか。色々とはが組織を結成し、国に要望を陳情する様に、我々も守る会を通して全国大会で実情を国に陳情が出来るように考えようではありませんか。皆様方の意見が大きな「ヒント」になりますよう、何事も遠慮せず表現してみましょう。皆の気持ちが集まれば大きな和になります。地道に活動する事が入居者の幸せにつながります。頑張りましょう。

色々書き綴りましたが、入居者一同様の健康と施設の役、職員、めぐみ会の皆様の健康、めぐみ会が末長くなごやかでありますよう、お祈り致します。



支援学校 訪問教室

大分支援学校教諭

相馬貴代

私は、大分県立支援学校の相馬貴代と申します。本校高等部一年生の入所に伴い、九月から患の聖母の家で訪問授業をさせて頂いておられます。よろしくお願ひします。

今から七年前の平成十五年四月から一年間、臼杵支援学校に勤務していた時、こちらにお世話になりました。その時は、旧姓「渡邊」でした。その年度の終りの二月に結婚して途中から「相馬」になり、そういう意味でも人生の節目となる、忘れられない一年間となりました。当時はこちらに入所していた生徒さんが四人と訪問担当の教師も四人いて、にぎやかに授業をしていました。合同授業では「ブレイメンの音楽隊」の劇をしたり、みんなで誕生会をしたり、気候の良い時期には園

★ ぴかぴか ぴかぴか ぴかぴか ★

少し前に入られたスタッフをご紹介します。



野中ヨシ子さん
衣類・縫製

一恵の聖母の家では、いろいろな方が利用者の方の生活を支援しています。今回は衣類・縫製の野中さんにお話をうかがいました。

前に縫製の仕事をしていたこともあり、園内でのいろいろな縫製をしています。これまでは、病棟ホールや仮眠室のソファ、大型テレビ、クッションチェアのカバー、それから面会室のカーテン、利用者の方が使用されるエプロンや手袋を作っています。縫い方が複雑なように思われるかもしれませんが、5ミリ1センチを基本にしています。ただ、型をとって作りますから、一つの作業で半日はかかります。現在は、9月のおもちや箱コンサートでスマイリース（車椅子レクダンス）が使用される氷川きよしの「ときめきのルンバ」の衣装を13枚作ったところで



①



②



③



④



⑤

園で仕事を始めて4年くらいになりますが、以前も車椅子レクダンスのチャングム用の衣装を作らせていただきました。サランという生地を使って、韓流雑誌をもとに作りました。この衣装は、ほのほのおおの「ONE DAY」(エイトピアおおの)で使用となりましたが、利用者の方も上手く踊られていて、「衣装も合って良かったな」とほっとしました。これからも利用者の方の支援をしていければと思います。よろしくお願いします。

- ①ソファカバー（ホール）
- ②大型テレビカバー・ラックカバー
- ③面会室カーテン
- ④クッションチェアカバー
- ⑤ソファカバー



人事

▼退職
看護師 竹尾京子様
(7月31日付)
ありがとうございます。今後の活躍をお祈りしております。



庭を散歩したり。あの頃をとても懐かしく思い出します。

この度、こうしてまたこちらにお世話になることになり、縁を感じているところです。当時の生徒さんや、職員の方々の再会もとても嬉しく思います。私の姿をみかけて声をかけて下さり、感激しています。そして懐かしい緑のけしきにとっても癒されているところです。

七年の間に私も七つ年を重ね（年齢は内緒ですが）その間に念願の母親になりました。息子は三歳になりました。電車が大好きで、私もそのおかげで少し詳しくなりました。すっかりおしゃべりになった息子との会話を楽しむ毎日です。

もともと暑い夏が苦手な私は、この夏の酷暑は本当に辛かったです。もうすぐ私の大好きなキンモクセイの香る秋がやってきます。大分と野津の景色の変化を楽しみながら、週3日、こちらに通いたいと思います。新入所の生徒共々、どうぞ、よろしくお願い致します。

行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ㊟…個別面談 ㊤…権利擁護委員会 ㊦…全体朝礼 ㊨…労働安全衛生委員会 ㊩…リスクマネジメント部会 ㊪…入浴日

10月		11月		12月		2011年1月					
1	金	㊪	1	月	㊪	1	水	㊪	1	土	お正月行事
2	土		2	火	㊟㊦	2	木		2	日	㊪
3	日		3	水		3	金	㊪	3	月	
4	月	㊪	4	木	㊟	4	土		4	火	㊟㊦
5	火	㊟㊦	5	金	㊪	5	日		5	水	㊪
6	水	㊪	6	土		6	月	㊪	6	木	㊟
7	木	㊟	7	日		7	火	㊟㊦	7	金	㊪
8	金	㊪	8	月	㊪	8	水	㊪	8	土	
9	土		9	火	◎	9	木	㊩	9	日	
10	日		10	水	㊪	10	金	㊪	10	月	㊪
11	月		11	木	㊩研究発表会	11	土	クリスマスの集い	11	火	◎
12	火	◎ ㊪	12	金	㊪	12	日		12	水	㊪
13	水		13	土		13	月	㊪	13	木	㊩行事委員会
14	木	㊩買い物野津	14	日	誕生会	14	火	◎	14	金	㊪
15	金	㊪	15	月	㊪	15	水	㊪	15	土	
16	土	ふれあい運動会	16	火	◎	16	木		16	日	
17	日		17	水	㊪	17	金	㊪	17	月	㊪
18	月	㊪	18	木		18	土	もちつき	18	火	◎
19	火	◎	19	金	㊪	19	日		19	水	㊪
20	水	㊪	20	土		20	月	㊪	20	木	
21	木		21	日		21	火	◎	21	金	㊪
22	金	㊪	22	月	㊪	22	水	㊪	22	土	
23	土		23	火		23	木		23	日	誕生会
24	日	誕生会	24	水	㊪	24	金	㊪	24	月	㊪
25	月	㊪	25	木	㊩杵マルシヨク	25	土	クリスマスマサ・サンタプレゼント	25	火	◎㊟
26	火	◎㊟	26	金	㊪	26	日	誕生会	26	水	㊪
27	水	㊪	27	土		27	月	㊪	27	木	
28	木	㊩杵マルシヨク	28	日		28	火	◎㊟	28	金	㊪
29	金	㊪	29	月	㊪	29	水		29	土	
30	土		30	火	◎㊟	30	木	㊪	30	日	
31	日					31	金		31	月	㊪

※予定変更の場合があります。

編集後記

なんとか発行に至りましたが、大事な内容は内容ですね。恵の聖母のスタッフや雰囲気伝わればと思っています。他にもいろいろ伝えたいことはあるのですが、それは次回のお楽しみということで…。さて、次号は来年になります。少し早いですが、皆さまお身体を大事に。良いお年を。(S・M)